

「秋野菜の栽培管理」

異常高温が続いたという感覚もすっかりなくすほど気温も低下し、しっかり秋本番という感じです。これから秋野菜の生育にとって重要な時期となります。すでに、アオムシなど害虫の発生が目立ってきております。また、地域的な大雨の発生も見られており、多湿に伴う病害の発生も大変懸念されます。圃場排水対策など生育環境を整えると同時に、適期作業に努め、健全生育を心がけてください。

生育環境の整備

集中的な雨による滞水が発生しやすいので、排水溝の雑草を刈ったり、溜っている土砂を浚っておいて下さい。

気温が高いときに多湿状態が続きますとナンブ病やベト病が発生しやすいです。大根や白菜、キャベツなどの下葉で黄変した葉や枯れた葉などは病原菌やナメクジ、害虫の巣になります。やすいので取り去って、通風採光を図ってください。また、強風や大雨時には風雨により地上部が揺すられ、茎や根が傷み生育に影響が出やすくなるので、株元が不安定な場合は土寄せを行なってください。また、風雨の後は、病害が発生し易くなるので直ちに殺菌剤散布を徹底して下さい。

秋野菜の施肥と間引き

葉菜類は、生育期間が短いため元肥中心で速効性のものを使用して生育前半に草勢を強くすれば追肥は少なくても育ちやすくなります。根菜類も、葉菜類と同様に元肥中心で、地上部がある程度大きくなれば自然と地下部も大きくなります。

秋野菜の追肥は基本的に 2 回行います。1 回目は播種、定植後 2 週間目頃。2 回目は白菜など結球する作物では結球始め、ブロッコリーなどは花蕾が見え始めた頃、大根などは 1 回目の施用後 2 週間目位で間引きを兼ねて行います。施肥量は「そさい 3 号」で 1 株(本)当り 10g 程度で(大根は 5g 程度) できれば除草を兼ねて土壌混和し、土寄せします。マルチ栽培の場合は生育に問題が無ければ、1 回目の追肥は行いません。

2 回目はマルチの肩部分に施用します。

○病害虫の防除

1、今年アオムシやヨトウムシ、コナガ、オオタバコガなどの発生が多くなっています。葉に食害痕があり、付近に糞が見られたら、虫は見えなくても必ずどこかに潜んでいます。(ヨトウムシやコナガは葉裏にいることが多い。) これら害虫は大きくなると防除が困難になります。早めの防除を心がけてください。

農薬散布の効果をあげるには、濃度を濃くすることより、薄くても薬液量を多くし、かけ残しのないように丁寧に散布してください。その他注意点として、



コナガの食害。薄く皮を残す食べ方が特徴。発生回数が多く早めの防除が必要。



アオムシ老齢幼虫



ハスモンヨトウム



ダイコンサルハムシ成虫

- 1、初期防除は残効性の長い農薬を使用する。
- 2、日中高温時には散布しない。
- 3、降雨が予想される場合は散布しない。
- 4、3種類以上の農薬混用は避ける。

なお、木酢液で殺虫効果を明記しているものではありません。(忌避効果は期待できる。)

ダイコン、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリーに共通して使用できる農薬はいくつかありますが、アフーム乳剤、ジェイエース、モスピラン水溶剤などが使いやすいでしょう。また、ハクサイ、キャベツなどは結球内部に食い込まれると防除困難となりますので結球の始まる前にしっかり害虫を退治しておいてください。散布にあたっては収穫前日数を確認し使用して下さい。



ハクサイの軟腐病

- 2、湿気と窒素過多により軟腐病、斑点細菌病、ベト病などが発生しやすく、排水の悪い圃場では蔓延します。Zボルドー、ダコニール1000はこれら病害の予防剤として使用できます。特に発生すると最も厄介なのが軟腐病です。この病気は多くの野菜を侵します。特に白菜、大根は要注意です。軟腐病が見られたらスターナ水和剤を使用します。散布に当たっては対象病害、および収穫前日数を確認し使用して下さい。

害虫防除剤	対象害虫				使用倍率 (1)	対象作物			
	アオムシ	コナガ	ヨトウムシ	アブラムシ		大根	白菜	キャベツ	ブロッコリー
ジェイエース水溶剤	○	○	○	○	1000~1500	○14	○14	○7	○14
ハクサップ水和剤	○	○	○	○	1000~2000	○35	○前	○前	○30
モスピラン水溶剤 (2)	○	○		○	1000~4000	○14	○14	○7	○14
マラソン乳剤	○			○	1000~3000	○14	○前	○前	○3
エルサン乳剤	○	○	○	○	1000~2000	○30	○21	○14	○30
アフーム乳剤	○	○	○		1000~2000	○7	○7	○7	○7
アディオン乳剤	○	○	○	○	2000	○30	○14	○3	○3

(1)使用倍率は作物によって違うので確認のうえ使用の事。

(2)大根のみ散布は1回まで。

対象作物欄の数字は収穫前日数を表す。(「○14」は収穫前14日まで。「○前」は収穫前日まで(24時間前まで)

病害防除剤	対象病害							使用倍率	対象作物			
	軟腐病	黒斑病	斑点細菌病	ベト病	黒斑細菌病	白斑病	黒腐病		大根	白菜	キャベツ	ブロッコリー
Zボルドー	○		○	○	○		○	500	○無	○無	○無	○無
コサイドボルドー	○		○				○	1000	○無	○無	○無	○無
スターナ水和	○							1000	○21	○7	○7	○14
ダコニール1000		○		○		○		1000	○45	○7	○14	○21

対象作物欄の数字は収穫前日数を表す。(○無は規制なし)